

《聖餐式・平和祈念礼拝》

主 日 礼 拜

	①8時半	②10時半	③19時
司 会	①石井師	②白川 達男兄	③石井師

奏 樂
祈 禱
賛 美

①石井師 ②石井 洋子姉 ③石井師

聖歌 593 番 & ~Once Again~

平和の祈り
聖書

特別賛美
メッセージ

聖餐式

献 金

祝 禱

お知らせ

贊美

①8時半 ②10時半 ③19時

①石井師 ②白川 達男兄 ③石井師

①石井師 ②石井 洋子姉 ③石井師

聖歌 593 番 & ~Once Again~

①ローマ人への手紙5章1～8節

②エペソ人への手紙3章8～13節

プレミアム・クワイア

①「アダムが失った輝きの復元」大川従道牧師

②「教会に与えられている使命」 石井潤牧師

賛美「主イエスの十字架の血で」

聖歌229番「おどろくばかりの」

〔献金当番：青木姉・渡辺姉〕

【司会者】

～叫べ、全地よ～

礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします!
《今週のお知らせ》

1. 本日は「平和祈念礼拝」。世界の平和、和解のために祈りましょう！
2. 本日の午後1時～、執事会が行われます。教会の今後の働きのため。
3. 今週の祈禱会は、準備祈禱会(土曜夜8時)のみ行います(早天・祈禱会お休み)。
4. 来週の日曜は「ファミリーの日」のため、礼拝後の昼食はありません。

8/22(木):WOGA 集会 24(土):バイブルスタディ(小山姉宅) 25(日):聖歌隊

[illegible]

「教会に与えられている使命」

～天国の恵みをこの世に流す教会の働き～

「これは、教会を通して、天使たちにも、このことを知ってもらうためであって、私たちの主イエス・キリストによって実現された、神の永遠のご計画にほかならない。私たちは、このキリストを信じる信仰によって、大胆に確信を持って神のみもとに近付くことができる。」

エペソ人への手紙3章10-12節〔現代訳〕

上記の聖書箇所が続いて、14節から二つ目の「パウロの祈り」が記されているのですが、その最初のイントロ部分を新共同訳聖書では、「こういうわけで、わたしは御父の前にひざまずいて祈ります。御父から、天と地にあるすべての家族がその名を与えられています。」と記されています。「その名」とは、すべての源なる父なる神様をお父様と信じるすべての人々に与えられている新しい名前であって、それは、永遠の世界、あらゆる世界、霊的な世界にも通じる力ある名として私たちに与えられているものです。それが、「教会」を通して与えられているのだ！とパウロは宣言しています。このパウロの語る「教会」とは物凄い大きなスケールのある教会です。キリスト教は元々は一つの教会しかありませんでした。それが「公同＝カトリック」の教会と呼ばれる言葉です。

クリスチャンであるということは世界の教会の一員であるということです。それを最も感じたのは、米国の教会に研修に行かせていただいたときです。シアトルにあるシティチャーチは熱心に祈る教会でした。しかも、共に手をとって輪になって熱心によく祈りました。そこに日本人である私がいたので、日本のために何度も何度も祈ってくれました。「ああ、主によってこんなにも世界中に家族がいるのだ！」と心より感謝しました。

日本の教会はあまり大きくはありませんが、それでも、どこに行ってもクリスチャンというだけで、一つになれるということがあります。それぞれのスタイルは異なりますが、それでも、主にあって家族なのです。そして、それはこの地上だけのことでなく、永遠に、しかも、天上にあっても、目に見えない霊的な世界——実はその世界が表の世界を支配している——に対しても、力ある働きをすることができる。その権威と力が教会に与えられている。その力が私たちを通して実現していくのだとパウロは語りたかったのだと思います。

しかし、そのことを敵である悪魔も良く分かっていて、私たちクリスチャンにそんな力が与えられているということを分らないように、気づかせないように必死に働いています。そして、どんどん私たちは父なる神様の力を表わすことができる世界から引き離されてしまいます。そして、いつしか力のない信仰者となってしまうのです。先週の祈禱会で観させていただいた天野先生を通して表現されていた聖霊様のお働きは私たちの目を覚まさせてくれる内容でした。今も働かれている主のお働きをしっかりと見たいと思います。